タカラ 気泡 風呂《ヘルシージェット》

PNタイプ（内蔵ジェット）　HJPN-260

設置説明書

家庭用

設置される方へのお願い

◇この器具を正しく安全にご使用いただくために、この「設置説明書」をよくお読みになって指定された作業を行ってください。
◇この器具には指定された専用浴槽・システムバスが必要です。浴槽・システムバスの「設置説明書」もよくお読みください。
◇設置終了後にお客様に使用方法、保証の内容をよく説明の上、「取扱説明書（保証書付）」、「設置説明書」をおわたしください。

安全のために必ずお守りください。

◇ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

図記号の意味は次の通りです。

図記号	意味
	このような図記号は、「禁止行為」を告げるものです。絶対に行わないでください。
	このような図記号は、「行為の指示」を告げるものです。必ず指示に従い、行ってください。

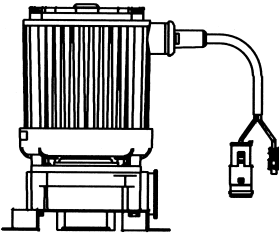
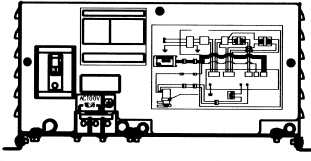
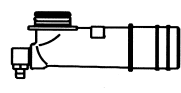
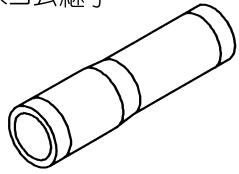
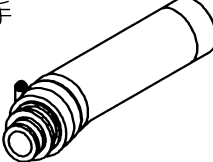
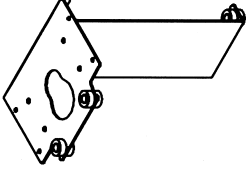
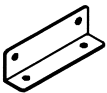
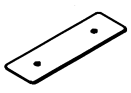
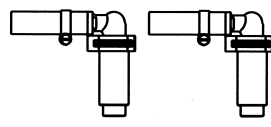
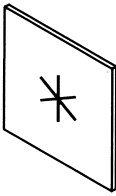
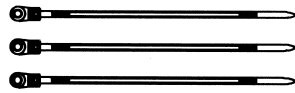
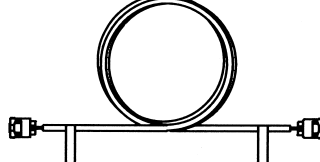
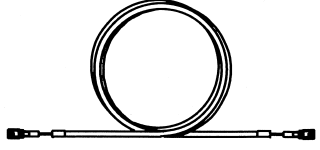
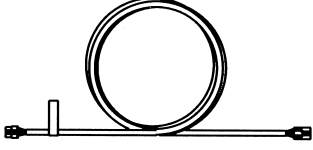
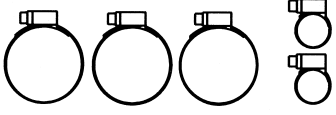
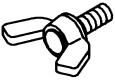
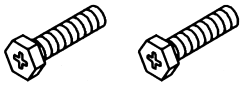
⚠警　告

	必ずアース（接地）工事をする［D種接地工事（旧第三種接地工事）］ 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
	ぬれた手で、漏電しゃ断器の点検をしない 感電の原因になります。
	電気工事は、必ず電気工事士の資格者が行う 電気回路容量不足や工事不備があると、感電・火災の原因になります。
	絶対に分解したり、修理・改造は行わない 感電や発火の原因となり、異常動作して事故やけがをすることがあります。 修理は販売店にご相談ください。
	交流電源１００V以外では使用しない 火災・感電の原因となります。
	電源ボックスの漏電しゃ断器のレバーを固定しない 火災の原因となります。

⚠警　告

🚫	**ポンプのコード、中継ケーブルは途中で切断したり、接続して延長しない** ショートし感電·火災の原因になります。
🚫	**電源ボックスを屋外に置かない** 屋外仕様ではありません。感電の原因になります。
🚫	**電源ボックスを浴室内や水のかかる所に放置しない** 感電の原因になります。

⚠注　意

🚫	**設置の際は、養生シートなどを使い、浴槽や浴室内を傷つけない** 補償問題になることがあります。
❗	**設置後は金属片やゴミなどをきれいに取り除く** けがをしたり、さびが発生することがあります。
❗	**設置後の点検時は、配管接続部の水漏れ点検を十分に行う** 水漏れが起こると補償問題になります。

設置上の注意

◇Oリングやパッキンに傷をつけたり、ゴミをつけないでください。

◇配管内部に異物が入らないように注意してください。

◇このジェットバスは消音ポンプを使用しておりますが、騒音や振動のトラブルを避けるため、2階および集合住宅へは設置しないでください。

◇天井面からスラブ面までの距離は200mm以上確保できていることを確認してください。

開こん

付属部品の確認

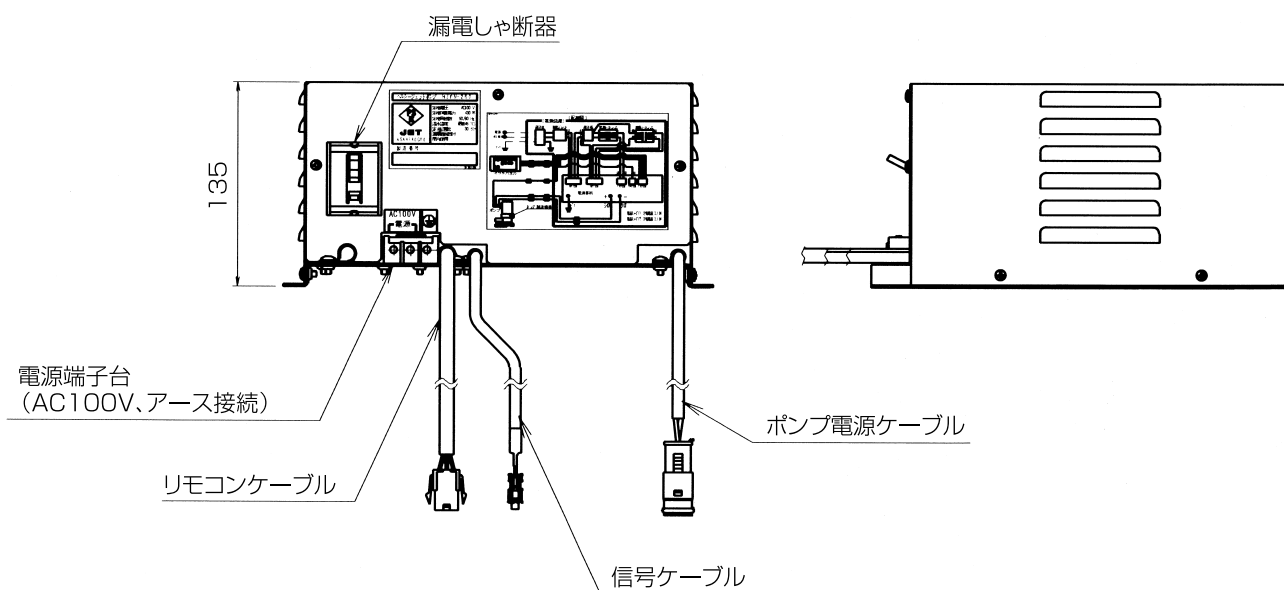
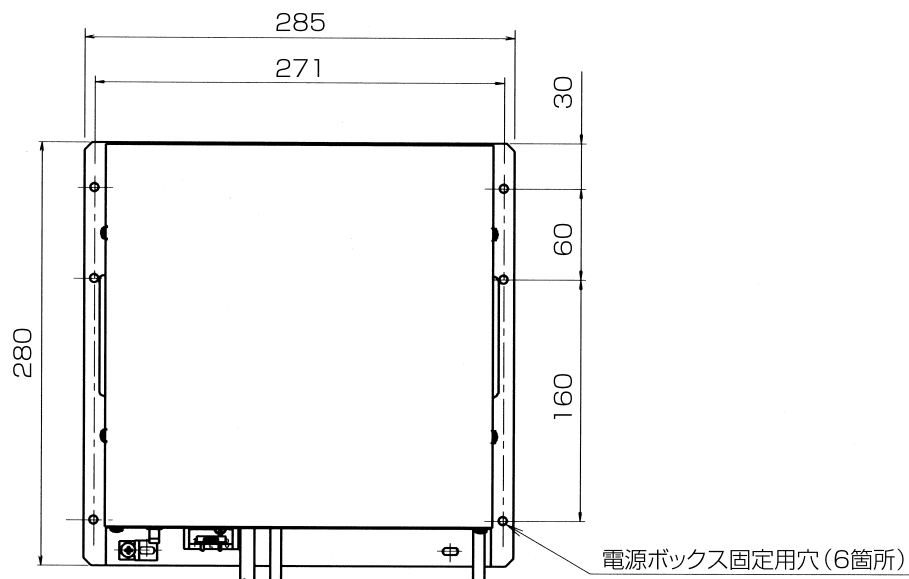
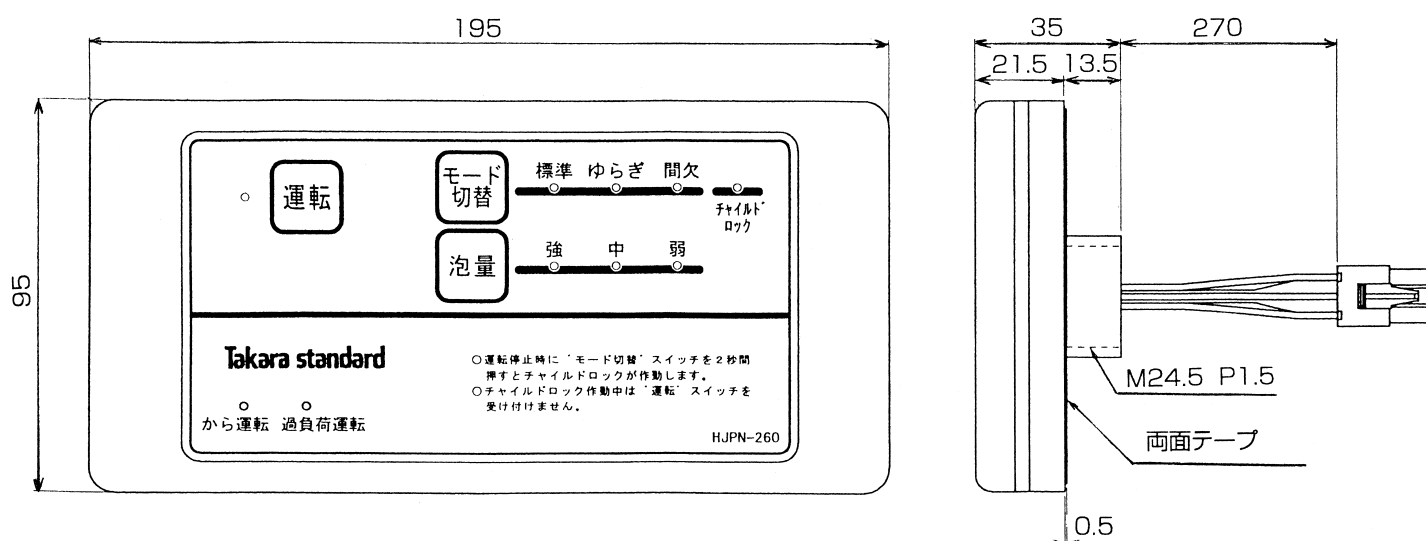
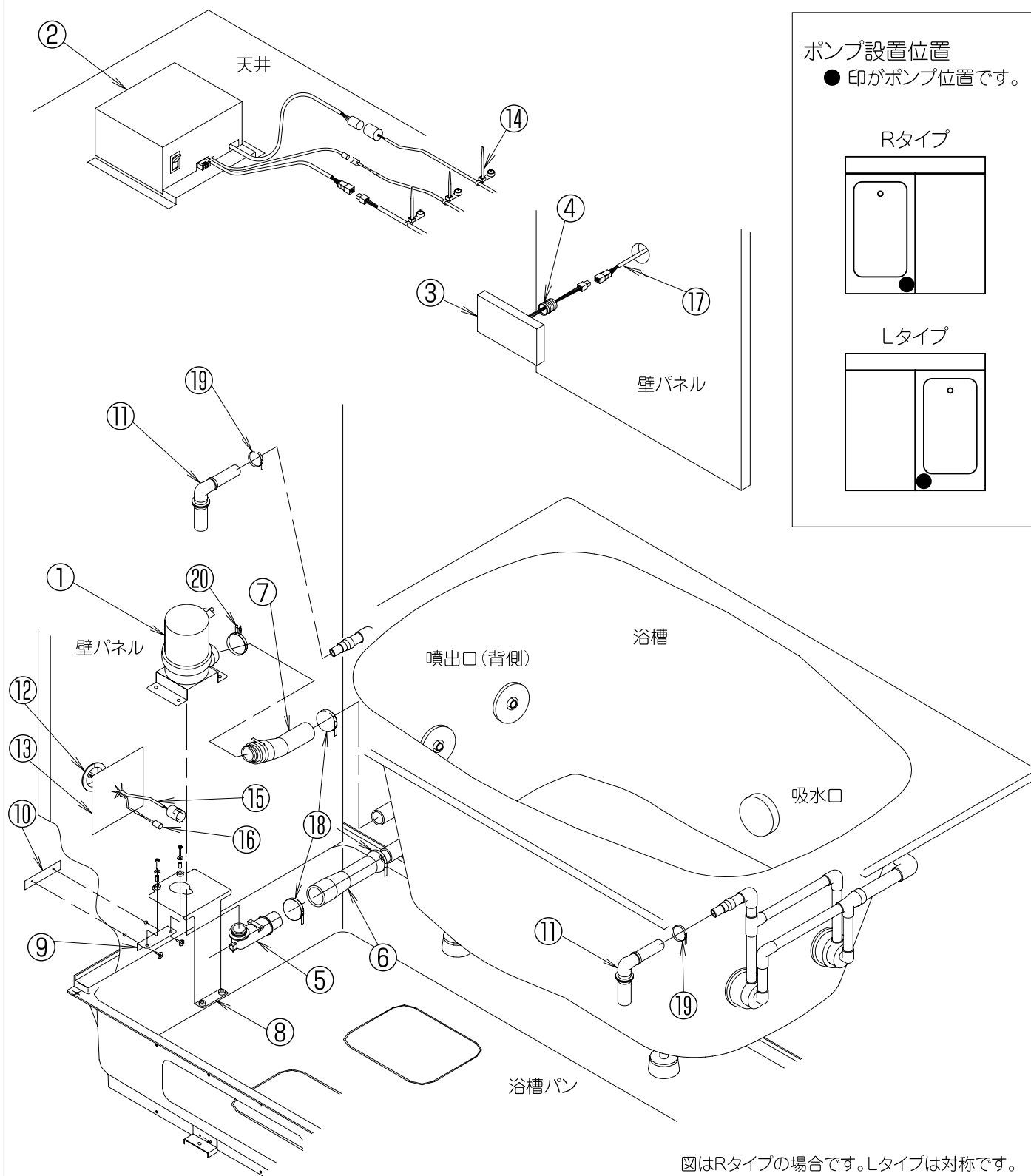
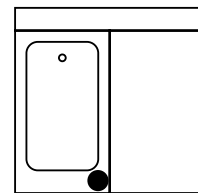
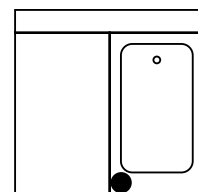
・次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

ポンプ	電源ボックス	リモコン	ミニパイプ
吸水ジョイント	吸水ゴム継手	吐水ジョイント付 ゴム継手	ポンプ架台
L金具	板ナット	逆止弁セット（2セット）	グロメット
ゴムシート	結束バンド（3本）	ポンプ電源ケーブル（5m）	信号ケーブル（5m）
リモコンケーブル（5m）	ホースバンド大（3個） ホースバンド小（2個）	ジョイントバンド	スリーブ（2個）
平座金（2個）	蝶ボルト M4×10（1本）	六角ボルト M4×10（2本） ・L金具固定用	六角ボルト M4×20（2本） ・ポンプ固定用
トラスタッピンネジ 4×8（4本） ・電源ボックス固定用	テクスネジ 4×13（3本） ・結束バンド固定用	ナベタッピンネジ 4×12（2本） ・吸水ジョイント固定用	六角ボルト M5×20（2本） ・ポンプ架台固定用

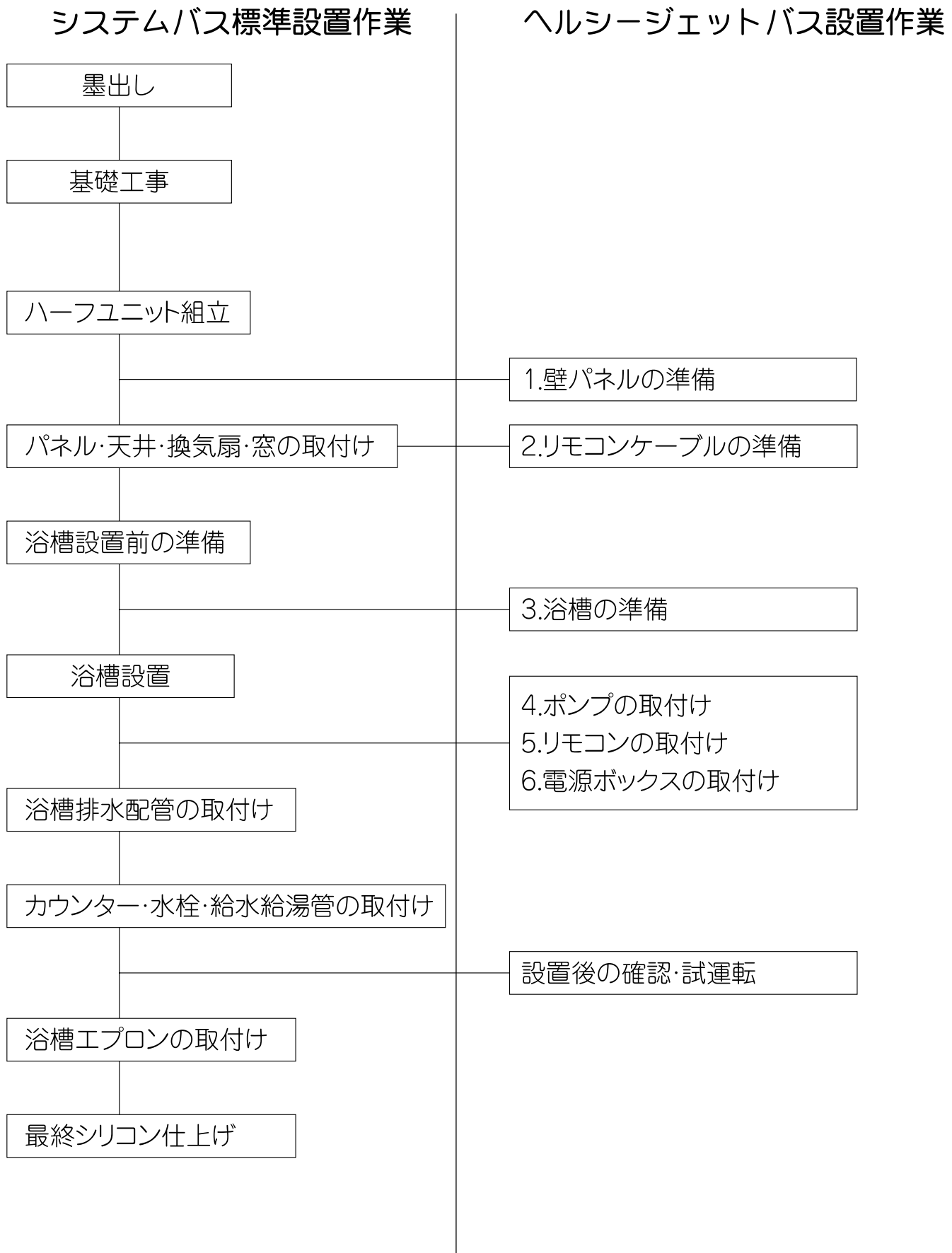
外形寸法図

1.電源ボックス

285
271
30
60
160
280
電源ボックス固定用穴（6箇所）

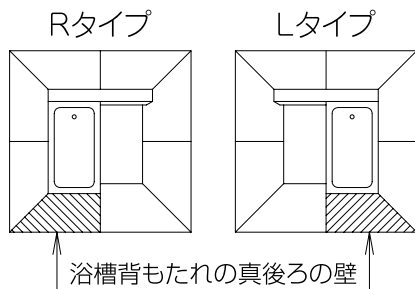
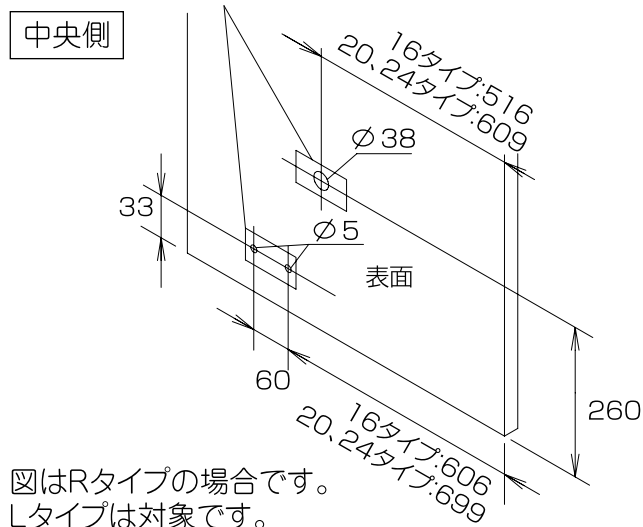
漏電しゃ断器
135
電源端子台
（AC100V、アース接続）
リモコンケーブル
信号ケーブル
ポンプ電源ケーブル

2.リモコン

設置例と各部の名称（構成図）

① ポンプ
② 電源ボックス
③ リモコン
④ ミニパイプ
⑤ 吸水ジョイント
⑥ 吸水ゴム継手
⑦ 吐水ジョイント付ゴム継手
⑧ ポンプ架台
⑨ L金具
⑩ 板ナット
⑪ 逆止弁セット
⑫ グロメット
⑬ ゴムシート
⑭ 結束バンド
⑮ ポンプ電源ケーブル
⑯ 信号ケーブル
⑰ リモコンケーブル
⑱ ホースバンド大
⑲ ホースバンド小
⑳ ジョイントバンド

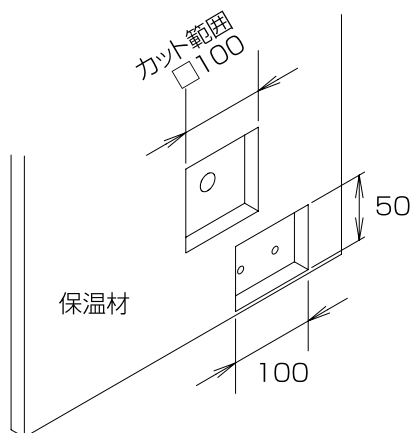
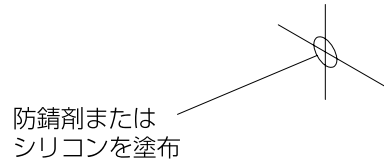
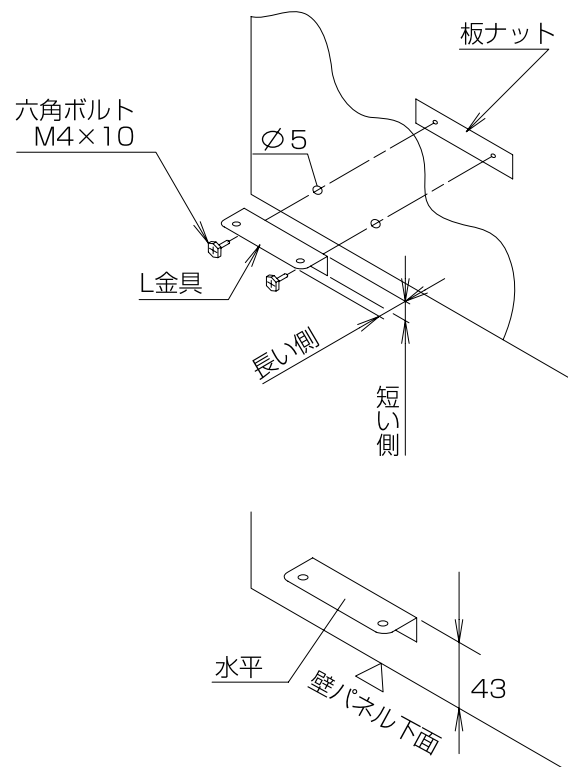
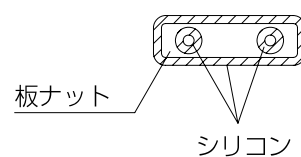
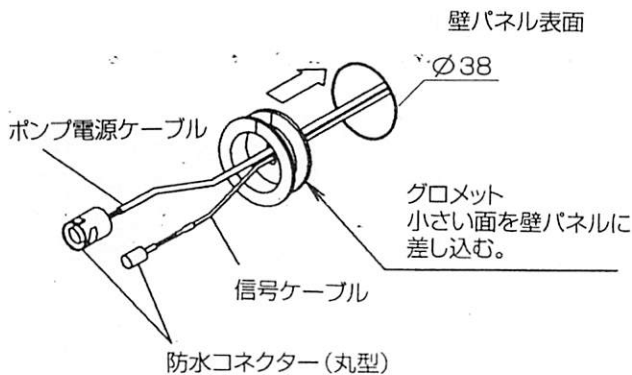
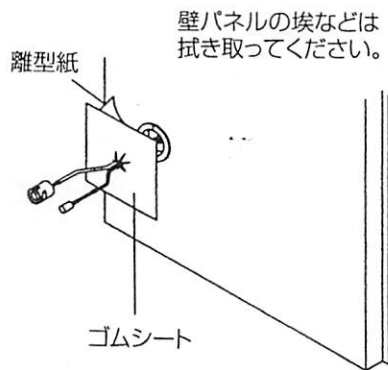
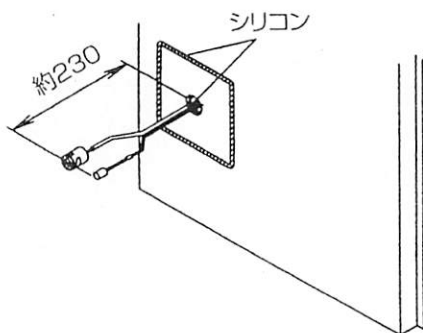
設置作業の流れ

システムバス標準設置作業に加え、ヘルシージェットバス設置作業を下記の手順で行ってください。

機器の設置

1.壁パネルの準備

壁パネルを取り付ける前に作業してください。

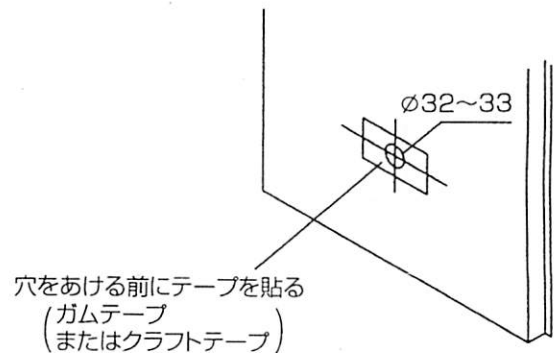
①浴槽パンの背もたれの真後ろの壁パネルにL金具の固定用穴（⌀5、2箇所）およびケーブル取り出し用穴（⌀38、1箇所）あけてください。

穴をあける前にテープを貼る
（ガムテープまたはクラフトテープ）

図はRタイプの場合です。
Lタイプは対象です。

②あけた穴を中心に保温材を切り取ってください。

③穴あけ用で貼ったテープをはがしてから穴の端面に防錆剤またはシリコンを塗布してください。

④L金具と板ナットで壁パネルを挟み込み、L金具が水平になるように固定してください。

⑤板ナットの周り、およびネジの周りにシリコンを塗布してください。

⑥ポンプ電源ケーブルと信号ケーブルを穴に通し、グロメットを壁パネル表面より差し込んでください。
・ケーブルに方向性はありません。

⑦ゴムシートの中央の切り込みにケーブルを通し、ゴムシートの離型紙をはがして壁パネルに貼りつけてください。

⑧ケーブルの引き出す長さを約230mmに調整し、ゴムシートの周りとケーブル貫通部にシリコンを塗布してください。

⑨ケーブルの電源ボックス側は、天井を組付ける時に天井裏に上げてください。

注意　天井を設置する際にケーブルをつぶしたり、傷つけないでください。

2.リモコンケーブルの準備

①壁パネルのリモコン取付位置にケーブル取り出し用穴（ø32～33）をあけてください。

注意　リモコン取付位置は、リモコンが壁パネルの継ぎ目にかからないようにしてください。

②穴あけ用で貼ったテープをはがしてから穴の端面に防錆剤またはシリコンを塗布してください。

③リモコンケーブルのリモコン接続側をケーブル取り出し用穴に通して壁パネル表面に出しておいてください。
・リモコンケーブルには方向性があります。天井側（電源ボックス側）にラベルが付いています。

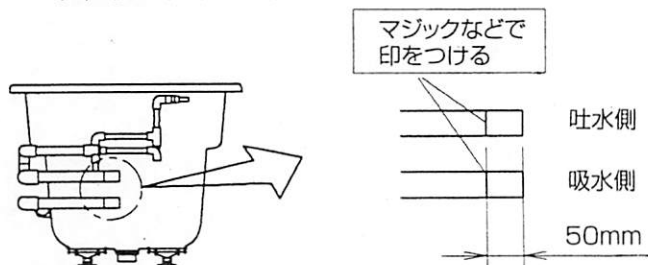
④リモコンケーブルの電源ボックス側は、天井を取付ける時に天井裏に上げてください。

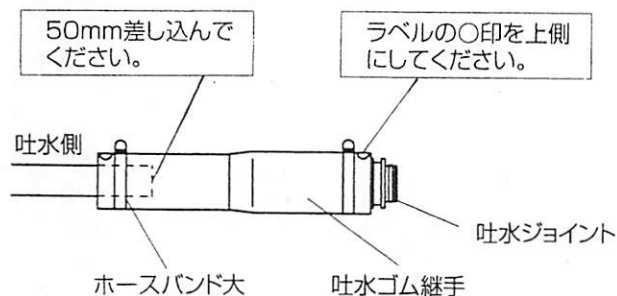
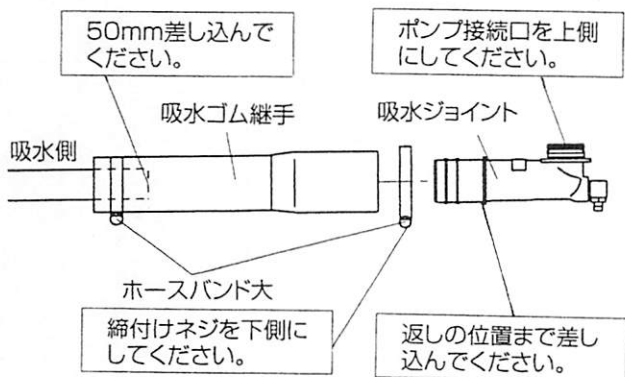
注意　天井を設置する際にケーブルをつぶしたり、傷つけないでください。

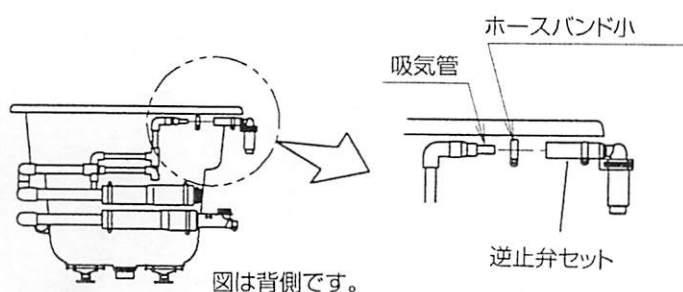
機器の設置

3.浴槽の準備

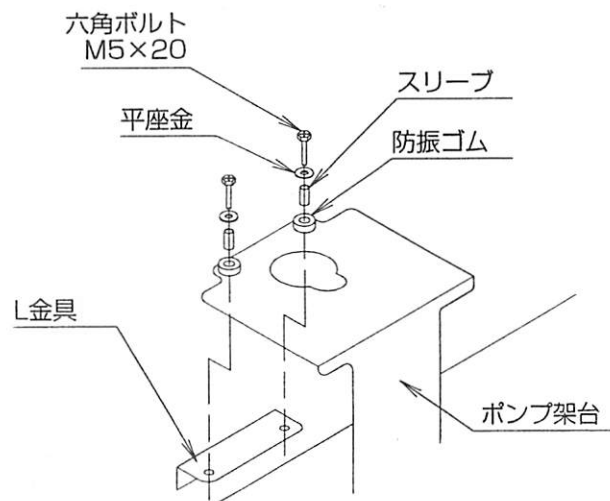
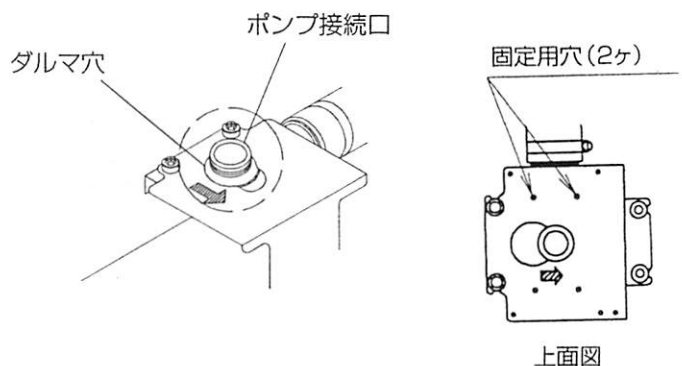
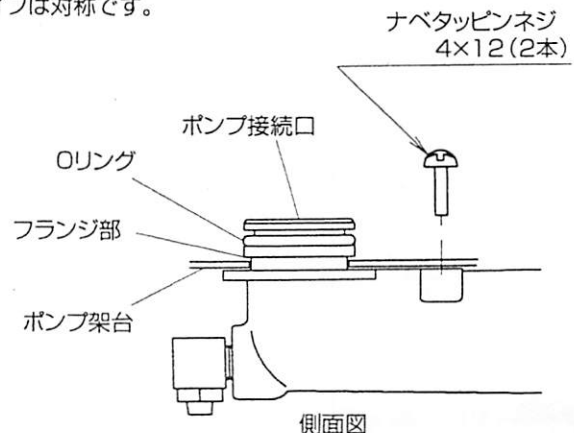
浴槽を組付ける前に作業してください。

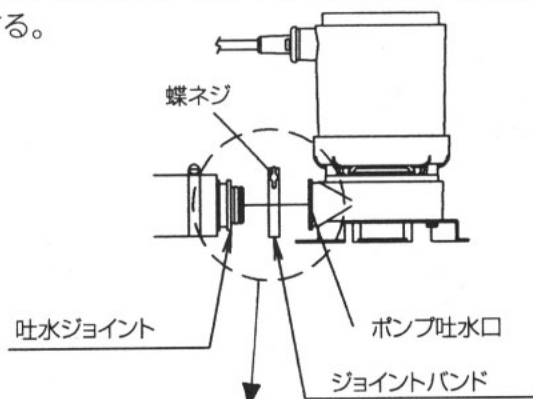
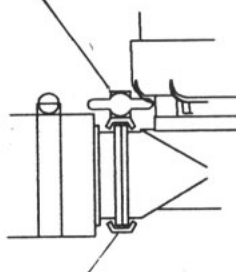
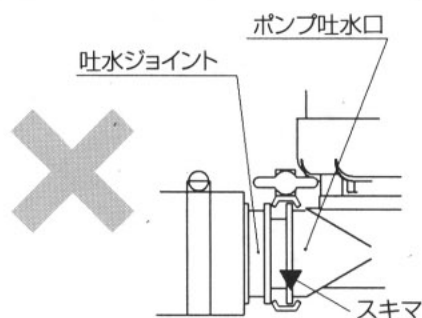
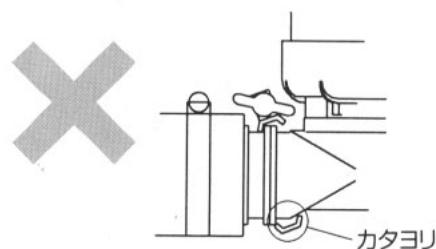
①浴槽配管にゴム継手の差し込み代をマジックなどで印をつけてください。

図はRタイプの場合です。Lタイプは対称です。

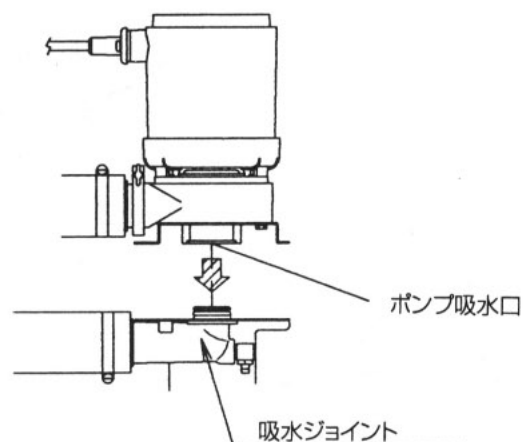
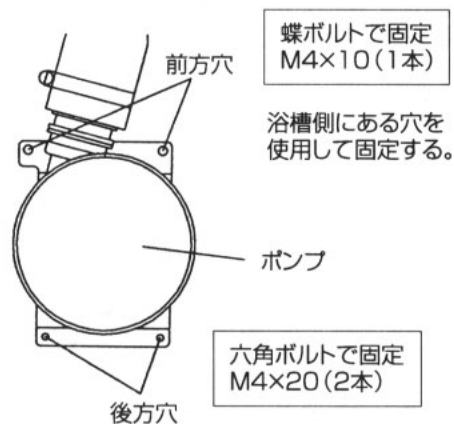
②吐水側の配管に吐水ジョイント付ゴム継手を差し込み、ホースバンド大で締め付けてください。

③吸水側の配管に吸水ゴム継手と吸水ジョイントをを差し込み、ホースバンド大で締め付けてください。

④逆止弁セットを背側、足側の吸気管の2箇所に差し込み、ホースバンド小で締め付けてください。

図は背側です。

4.ポンプの取付け

浴槽を組付けた後、作業してください。

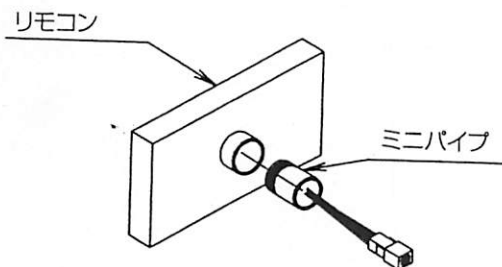
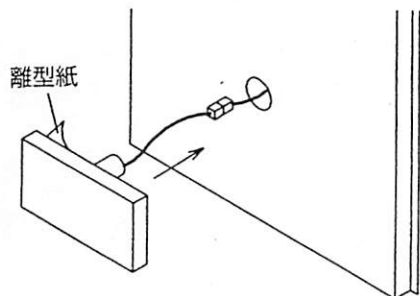
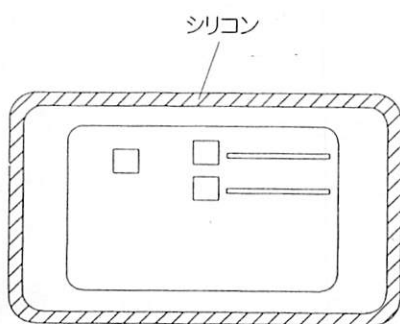
①ポンプ架台を壁パネルに取付けたL型金具に取付けてください。

②吸水ジョイントのポンプ接続口をポンプ架台のダルマ穴より上に持ち上げ、横にスライドしフランジ部をポンプ架台に引っ掛けて、タッピンネジで固定してください。

注意　ポンプ接続口のOリングを傷つけないでください。

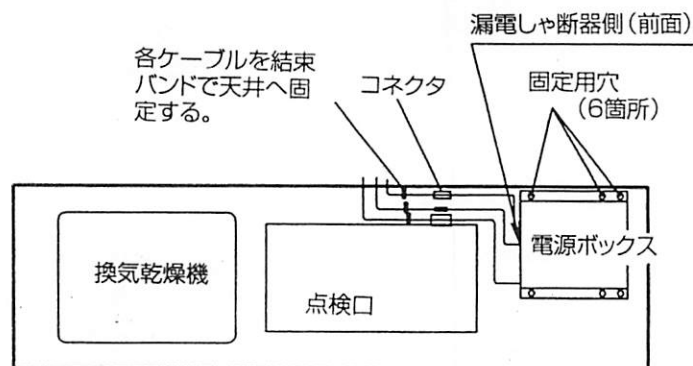
③浴槽配管に接続した吐水ジョイントをポンプ吐水口に差し込み、ジョイントバンドの蝶ネジを締め接続する。

注意　下図のような締め付けはしないでください。
水漏れの原因になります。

ジョイントバンドが吐水ジョイントのフランジとポンプ吐水口のフランジの間に入った状態で締め付ける。

ジョイントバンドが斜めになった状態で締め付ける。

④ポンプ吸水口を吸水ジョイントに差し込んでください。

⑤ポンプの後方穴を六角ボルトで、前方穴を蝶ボルトで固定してください。

⑥壁パネルから引き込んでおいたポンプ電源ケーブルと信号ケーブルをポンプ側のコネクタと接続してください。

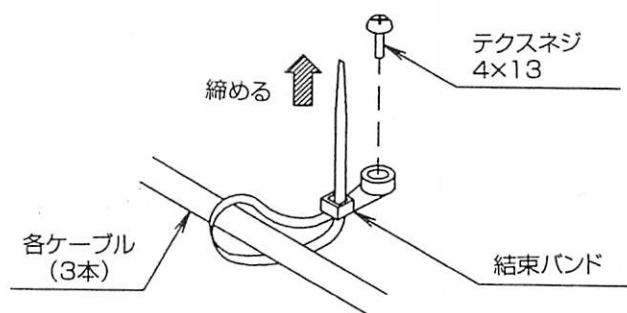
注意　コネクタの接続は、外れ防止のロックが効くまで差し込み、確実に接続されたことを確認してください。

5.リモコンの取付け

①リモコンにミニパイプを取付けてください。

②リモコンのコネクタとリモコンケーブルのコネクタを接続し、リモコン裏面の両面テープの離型紙をはがしてからリモコンを壁パネルに取付けてください。

③リモコンと壁面の全周にシリコンを塗布してください。

6.電源ボックスの取付け

電源ボックス設置位置（例）
ドーム用 平天井1616（換気乾燥機仕様）の場合

注意　電源ボックスは点検口のある平天井に設置してください。
電源ボックスの漏電しゃ断器側（前面）を点検口側に向けてください。
ドーム天井の場合は、換気扇（浴乾）の反対側に電源ボックスを設置してください。

①電源ボックスをトラスタッピンネジ（4×8）で天井裏に固定してください。（2箇所以上）

②各ケーブルを結束バンドで天井面に固定してください。（3箇所）

③各ケーブルを電源ボックスのコネクタに接続してください。（3箇所）

注意　コネクタの接続は、外れ防止のロックが効くまで差し込み、確実に接続されたことを確認してください。

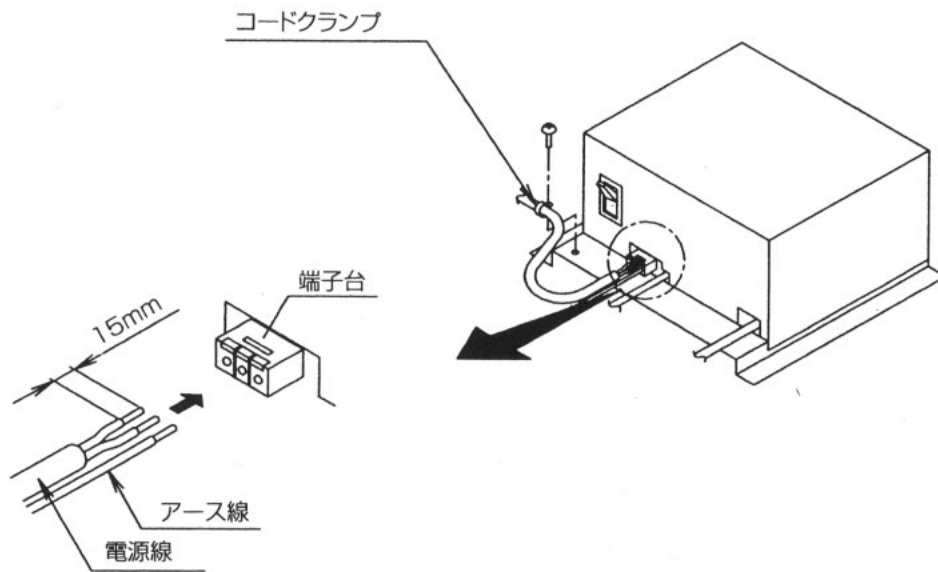
水漏れ確認終了後、浴槽エプロンを取付けてください。
浴槽エプロンを取付けるとポンプと浴槽配管の接続部からの水漏れ確認ができません。

電気工事

この機器にはAC100V電源が必要です。
電気工事は、電力会社指定工事店に依頼し、有資格者による工事を行ってください。
電源線にはVVFケーブル（芯線Ø1.6～2.0）の2芯または3芯を使用してください。
アース線を単独で接続する場合は、IV線（芯線Ø1.6～2.0）を使用してください。
電気設備に関する技術基準（第28条）によるD種（第三種）接地工事を行ってください。

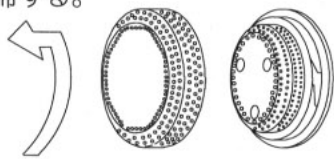
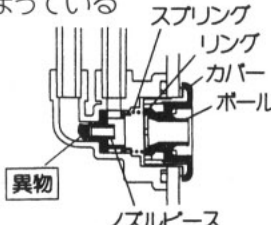
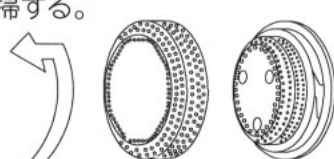
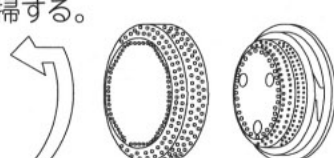
①VVFケーブル線の先端15mmの被覆を剥いでください。

②電源線、アース線を端子台に挿入し、奥まで確実に
　入れてください。

③電源線を電源ボックスについているコードクランプで
　固定してください。

ポンプ設置後の確認

設置が終わりましたら、もう一度確認してください。

機器の確認

●アース（接地）工事は確実に行われていますか。
●各ケーブルの接続は確実に行われていますか。
●漏電ブレーカーは「ON」になっていますか。
●逆止弁を2箇所取付けていますか。

配管からの水漏れ確認（浴槽エプロンを取付ける前に確認してください。）

●電気配線および給水配管されていない場合、ポンプと浴槽配管の接続部からの水漏れの確認はバケツなどで浴槽に水を張って行ってください。
●水漏れ確認後、浴槽水は排水してください。

試運転

	作　業	確認項目	チェック
1	運転スイッチを押す。	約3秒後にリモコンの「から運転」ランプが点灯し、運転が停止する。	
2	浴槽水を足側の噴出口より15cm以上入れる。		
3	運転スイッチを押す。	「運転」ランプ・「標準」ランプ・「強」ランプが点灯し、4つの噴出口から噴流が発生する。	
	運転中、「モード切替」スイッチを押す。	「モード切替」スイッチを押すごとに、モード切替ランプが「標準」→「ゆらぎ」→「間欠」に変わる。 また、噴流状態が変化する。	
	運転中、「泡量」スイッチを押す。	「泡量」スイッチを押すごとに、泡量ランプが「強」→「中」→「弱」に変わる。また、噴流の強さが変わる。	
	運転中、「運転」スイッチを押す。	停止する。	
4	停止時に、「モード切替」スイッチを2秒間押し続ける。	「チャイルドロック」ランプが点灯し、他のスイッチを受け付けなくなる。	
	もう一度「モード切替」スイッチを2秒間押し続ける。	「チャイルドロック」ランプが消灯する。	
5	3～4の操作中	配管、各接続部から水もれがないこと。	
6	浴槽の水（湯）を排水する。		

主なトラブルと点検ポイント

トラブル現象	リモコン表示	点検内容	処　置
1.運転スイッチを押しても運転しない。 （浴槽に水はある） チャイルドロックランプ点灯中はスイッチを受け付けません。	運転ランプが点灯しない	1）電源･漏電しゃ断器の点検 2）リモコンケーブルが接続されていない	1）電源を確保する。 2)リモコンケーブルを接続する。
	から運転ランプが点灯して止まる	浴槽の水位が低い	水位が浴槽の噴出口より15cm以上になるように給湯する。
		ポンプの噴出した気泡を吸い込んでいる	噴出ノズルの方向を調整し再度、運転スイッチを押す。
		浴槽内の吸水口カバー･内カバーのつまり	吸水口カバー･内カバーを清掃する。 左に回して引っ張る
	過負荷運転ランプが点灯又は点滅して止まる	1）ポンプ内に異物がつまる 2）信号ケーブルを接続していない	1）ポンプ内を清掃する。 2）信号ケーブルを接続する。
	リモコンの全てのランプが点滅する	電源の電圧を確認する	100V電源を確保する。
2.運転スイッチを押してもポンプは運転するが気泡が出てこない。又は、少ない。	運転ランプが点灯する	噴出口内部のノズルピースに異物がつまっている スプリング リング カバー ボール 異物 ノズルピース	異物を取り除く。 浴槽よりカバーをゆるめて、ボール、リング、スプリングを取りはずし、ノズルピースをラジペン等で引き抜いて、異物を取り除いてください。
		浴槽内の吸水口カバー･内カバーのつまり	吸水口カバー･内カバーを清掃する。 左に回して引っ張る
3.気泡運転中の音が大きい。	運転ランプが点灯する	浴槽の水位が低い	浴槽に給湯する。
		浴槽内の吸水口カバー･内カバーのつまり	吸水口カバー･内カバーを清掃する。 左に回して引っ張る

設置後の整理

●不要なダンボールや廃材は、持ち帰ってください。
●火気や薬品類の始末には、特に気をつけてください。
●水栓が閉まっていることを確認してください。

お客様への説明

●取扱説明書によって、使用方法を説明してください。特に「特に注意していただきたいこと」「使用方法」をよく説明してください。
●保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って「保証・サービス」について説明してください。